

神奈川 新 THE KANAGAWA 聞

2015年[平成27年]

3月13日[金]

大安

地産地消給食を考える 栄養士ら60人が研修会



学校給食における地産地消の取り組みを学ぶ研修会が12日、横須賀市日の出町のヴェルクよこすかで開かれた。4月から中学校で給

食を導入する私立緑ヶ丘学院(横須賀市緑が丘)の学校給食推進委員会の主催で、栄養士や食材生産者ら約60人が聴講した。

地産地消の学校給食について意見を出し合う講師たち
「ヴェルクよこすか

食のジャーナリストの金丸弘美さんが基調講演し、「学校給食は食育の重要な場」として、全国各地の地産地消の取り組みや家庭、地域との連携の重要性などを紹介した。

長野県や佐賀県の小学校の栄養教諭や、農産物流通コーディネーターらもそれぞれの活動を発表した。

「豊かな食がある三浦半島だが、昔からの郷土料理がないと感じる」という会場からの質問に対し、専門家が「その地で生きてきた人の知恵と自然が表れるのが郷土料理。子どもと大人

でアレンジしてみても」とアドバイスしていた。

(岡部 伸康)